

## 一般社団法人日本体力医学会評議員申請要項

令和2年度より評議員選考内規が下記のように改定され、選考基準が若干緩和されました。また評議員推薦書の書式も若干簡略化されましたので、お目通しの上評議員の資格を満たすと思われる候補者についてはぜひとも奮って推薦・申請いただくようお願い申し上げます。

なお、とくに女性評議員の比率増加に努めておりますのでご協力の程よろしくようお願い申し上げます。

### I. 申請資格：下記、評議員選考内規をご参照下さい。

#### ◎日本体力医学会評議員選考委員会評議員選考内規

昭和62年10月7日改定  
平成6年11月18日改定  
平成24年7月20日改定  
平成28年8月26日改定  
令和2年2月21日改定

1. 評議員候補者は、通算7年以上の正会員歴を有していなければならない。
2. 評議員候補者は、7年以上の研究歴を有し、体力医学、運動生理学、スポーツ医学などに関する十分な研究業績の著書、学術論文などの業績発表を有していなければならない。
3. 評議員候補者は、評議員3名の推薦をうけて、入会年月日を明記した履歴書および業績目録を添えて、評議員会開催2カ月前迄に評議員選考委員会に申請しなければならない。
4. 日本体力医学会の学会運営に必要と認められるものは、必ずしも上記条件を満たしていなくとも評議員選考委員会の議を経て、その推薦により評議員候補者となることができる。
5. 評議員選考委員会は、推薦された評議員候補者を審議し、評議員の資格を有すると認められたものを、理事会へ報告し、評議員会に推薦する。

#### 付 則

- 1) 体力医学に関係する領域の学会で評議員を務めるかこの領域で博士の学位を取得しており、内規2を満たす研究歴と研究業績を認め、本学会の正会員歴が4年以上継続している場合には、評議員に推薦することができる。
- 2) 日本体力医学会より授与された日本体力医学会健康科学アドバイザーの称号を有しており、内規2を満たす研究歴と研究業績を認め、本学会の正会員歴が4年以上継続している場合には、評議員に推薦することができる。
- 3) 研究業績については、原則として、体力医学に関係する審査を受けた学術論文（原著論文、総説、短報、など）を筆頭著者として3編以上発表していることを基準として、評議員選考委員会で審議する。
- 4) 体力医学に関係する学会の学術大会等で大会長や組織委員会等より指名を受けた指定演題（特別講演、シンポジウム等）の口演発表を行った場合には、付則3)の審査を受けた学術論文の1編と同等の研究業績として評価し、評議員選考委員会で審議する。
- 5) 申請書類の送付先は 一般社団法人 学会支援機構内 日本体力医学会評議員選考委員会とする。

### II. 申請手続きについて

下記書類をHPの評議員申請 (<https://plaza.umin.ac.jp/jspfs/councilor/index.htm>) からダウンロードの上、ご記入・ご提出下さい。

- 1) 評議員推薦書（評議員3名の氏名と会員番号が必要です）
- 2) 履歴書

## 3) 研究業績

# 申請書類の書式に不備があると審査不可として再提出を依頼する事があるので、規定に則って正確に記載して下さい。

## Ⅲ. 承認までの流れについて

- ① 評議員申請書受付締め切り：2026年7月20日
- ② 提出期間満了後に評議員選考委員会で確認・選考を行う。
- ③ 同年9月に開催予定の理事会および評議員会総会において報告・承認を行う。

## ■ 申請書提出先

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 RENEX Shin-Otsuka 3階  
学会支援機構内  
一般社団法人日本体力医学会評議員選考委員会  
Tel：03-5981-6015（学会専用） Fax：03-5981-6012（学会支援機構）  
E-mail：jspfsm@asas-mail.jp

評議員選考委員会 委員長 浜岡隆文

## 第34回日本体力医学会東北地方会開催のご案内

1. 日時：2026年6月20日(土)（学術集会）
2. 会場：コラッセふくしま（5F研修室AB） 福島県福島市三河南町1番20号  
JR福島駅西口 徒歩約3分
3. 日程：9：30～ 受付  
10：00～11：30 公開講演  
11：30～12：00 総会  
13：00～15：00 一般演題

【お問い合わせ先】 日本体力医学会東北地方会第34回大会事務局  
担当：杉浦 弘一（福島大学人間発達文化学類）  
E-mail：ksugiura@educ.fukushima-u.ac.jp

## 一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2025年11月）議事録

日 時：2025年11月27日(木) 午後5時30分～7時40分

場 所：ZoomによるWeb会議

議 長：永富良一理事長

出席者：永富良一理事長、

内藤久士、小熊祐子各副理事長、

中田由夫常務理事、赤間高雄、甲斐裕子、

後藤勝正、須永美歌子、田畑 泉、中里浩一、

檜垣靖樹、町田修一、宮川俊平、宮下政司、

宮地元彦各理事、石井好二郎監事、

津田英一第80回大会長、

松田尚也第80回大会実行委員長、

西村信哉第80回大会事務局長、

田島卓也第81回大会長、

山口奈美第81回大会事務局長、

門間陽樹総務委員会副委員長

欠席者：井上 茂、岡浩一朗、勝川史憲、下光輝一、

竹森 重、田村好史、成田和穂、浜岡隆文、

前田清司各理事、清田 寛、小林康孝各監事、

家光素行第79回大会事務局長

### 【審議事項】

#### 1. 前回議事録の承認（永富理事長）

理事会終了時までには訂正等がなかった場合には、自動的に承認されることにした。

#### 2. シニア会員候補について（門間総務委員会副委員長）

資料に基づき、シニア会員の候補者が提案され、審議の結果、承認された。

#### 3. 規程の改定について（門間総務委員会副委員長）

資料に基づき、シニア会員制度内規、弔行為に関する申合せ、公益社団法人中富健康科学振興財団中富健康科学振興賞候補者推薦に関する申合せ、名誉会員制度内規の改定について説明がされ、審議の結果、承認された。

#### 4. 評議員名簿の公表（門間総務委員会副委員長）

資料に基づき、評議員名簿のHP公表が提案された。審議の結果、承認された。

#### 5. JSPO-AT部会の設立申請（門間総務委員会副委員長）

資料に基づき、JSPO-AT部会の設立申請が提案された。審議の結果、承認された。

#### 6. 青森大会における部会・若手の会の企画の希望

（門間総務委員会副委員長）

資料に基づき、来年度の部会・若手の会のシンポジウム・交流会の希望について提案された。審議の結果、承認された。

#### 7. 大会における健康運動指導士部会交流会へのスポット参加（非会員・非参加者の参加）のお願い

（門間総務委員会副委員長）

大会における健康運動指導士部会交流会へのスポット参加について説明された。審議の結果、継続審議と

なった。

#### 8. 会員情報閲覧システムの活用について

（門間総務委員会副委員長）

資料に基づき、会員情報閲覧システムを活用する旨が説明された。審議の結果、承認された。

#### 9. 男女共同参画推進委員会委員の増員について

（甲斐委員長）

資料に基づき、委員の増員について説明がされた。審議の結果、承認された。

#### 10. 学会賞等選考委員会の委員変更について

（宮地学会賞等選考委員長）

資料に基づき、学会賞選考委員会の委員変更について説明がされた。審議の結果、承認された。

#### 11. 役員の選出に関する規程の改定について

（中田常務理事）

資料に基づき、「役員の選出に関する規定」の改定について説明がされ、次回理事会で改めて審議することになった。

### 【報告事項】

#### 1. 各種委員会報告

##### 1) 編集委員会

資料に基づき、「JPFMSM」誌、「体力科学」誌の投稿・掲載状況が報告された。

「JPFMSM」誌、「体力科学」誌の投稿・掲載状況

<投稿状況> (2025年8月1日～2025年10月31日)

「JPFMSM」誌： 新規投稿6編（内海外2編）

※前年同期間：新規投稿8編

10/31現在、審査中5編

「体力科学」誌： 新規投稿3編

※前年同期間：新規投稿2編

10/31現在、審査中2編

<掲載予定>

「JPFMSM」誌

○Vol. 14, No. 6 (2025年11月25日発行)

Proceedings79編

○Vol. 15, No. 1 (2026年1月25日発行)

Regular Article 3編

○Vol. 15, No. 2 (2026年3月25日発行)

Regular Article 3編

○Vol. 15, No. 3 (2026年5月25日発行)

Short Review 1編, Regular Article 2編

○Vol. 15, No. 4 (2026年7月25日発行)

Regular Article 3編

○Vol. 15, No. 5 (2026年9月25日発行)

Regular Article 3編

○Vol. 16, No. 1 (2027年1月25日発行)

Regular Article 3編

○Vol. 16, No. 2 (2027年3月25日発行)

Regular Article 3編

○Vol. 16, No. 3 (2027年5月25日発行)

Regular Article 3 編

○Vol. 16, No. 4 (2027年7月25日発行)

Short Communication 1 編, Regular Article 1 編  
「体力科学」誌

○Vol. 74, No. 6 (2025年12月1日発行)

総説2編, 原著1編

○Vol. 75, No. 1 (2026年2月1日発行)

大会指定演題

○Vol. 75, No. 2 (2026年4月1日発行)

総説1編, 原著2編

◆特集号「体力科学」誌

○第7回特集：『日本体力医学会における部会・若手の会発足と今後の取り組み』（仮）4編掲載予定

◆第79回滋賀大会からの依頼総説および教育講座  
教育講座（体力科学）5編,

Regular Article (JPFSM) 1編 掲載予定

◆『体力科学』誌, 『JPFSM』誌の投稿規定改訂  
(改訂日：2025年10月10日)

利益相反 (COI) に関する運用指針改定に伴い,  
『体力科学』誌および『JPFSM』誌の投稿規定を  
改訂した。申告書については, 投稿時に著者全員の  
申告書が必要になる。

[改訂箇所]

『体力科学』誌 VII. 倫理・利益相反

『JPFSM』誌 Author competing interests  
and conflicts of interest

※利益相反 (COI) 申告書のタイトルについて

「自己申告による利益相反申告書」から「COI申  
告開示様式」に変更されていたが, 指針の文言  
に合わせて申告書のタイトルを修正した。

◆J-STAGE早期公開について

・J-STAGEセンターに早期公開機能の利用申請  
書を提出 (2025年9月25日)

・J-STAGEセンターの設定完了後 (11/10), 早  
期公開記事の掲載作業開始

・初回早期公開 (12/11 予定), 現在JPFSMのホ  
ームページ [Online First] に掲載されている論文  
については, 順次公開する。

◆Scopus から記載審査に関する結果について

審査結果：却下

2) 広報委員会 (田畑広報委員長)

資料に基づき, 日本体力医学会のホームページの  
充実を図るために, HP改訂WG (グループ長：森嶋  
琢磨 (中央大学)) を立ち上げた旨, 報告された。

3) 学術委員会 (町田学術委員長)

資料に基づき, 「第2回AIセミナー (DeepLabCut  
で簡単実現する動作解析)」, 「多施設共同による運  
動介入研究」の進捗状況について報告された。

4) 男女共同参画推進委員会

(甲斐男女共同参画推進委員長)

甲斐理事より「滋賀大会における男女共同参画推  
進委員会企画について」「男女共同参画推進委員会  
主催アンケートについて」が報告された。

5) 総務委員会 (門間総務委員会副委員長)

・物故者への弔意の表明について, 検討中である旨,  
報告された。

・資料に基づき, 部会・若手の会の年次活動報告・

次年度活動計画について報告された。

・資料に基づき, 会員情報の公開について報告された。

・資料に基づき, 大会後アンケート調査の結果公表  
について報告された。

・資料に基づき, 大会支援のマニュアルが作成中  
である旨, 報告された。

・長野大会長, 群馬大会長ともに継続審議である旨,  
報告された。

2. 第79回 (滋賀) 大会の報告 (田畑第79回大会長)

田畑大会長より, 資料に基づき, 第79回 (滋賀) 大  
会について報告された。参加者数1,601名, 演題数641  
題であった。

3. 第80回 (青森) 大会の進捗状況 (津田第80回大会長)

松田尚也第80回大会実行委員長より挨拶があった。  
津田第80回大会長より, 資料に基づき, 第80回 (青森)  
大会の進捗状況が報告された。

4. 第81回 (宮崎) 大会の進捗状況 (田島第81回大会長)

資料に基づき, 第81回 (宮崎) 大会の進捗状況が報  
告された。第81回大会事務局の山口奈美氏より挨拶が  
あった。

5. 日本医学会連合TEAM事業申請の結果の報告と今後  
について (小熊副理事長)

小熊副理事長より資料に基づき, 日本医学会連合  
TEAM事業の審査結果, 今後について報告された。

6. 日本医学会連合第4回社会部会リトリート参加者  
について (小熊副理事長)

小熊副理事長より, 日本医学会連合第4回社会部会  
リトリートに日本体力医学会から3名の若手研究者が  
参加予定であることが報告された。

7. 日本医学会分科会用語委員会の開催予定について  
(小熊副理事長)

日本医学会分科会用語委員会の開催予定について説  
明され, 小熊副理事長が参加予定であることが報告さ  
れた。

8. 日本臨床運動療法学会学術集会からの後援依頼につ  
いて (永富理事長)

日本臨床運動療法学会学術集会から後援依頼につ  
いて説明され, 後援を承認することが報告された。今後  
の共催依頼や後援依頼は総務委員会が取りまとめる方  
針が説明された。

9. その他

1) 財務担当委員について (永富理事長)

永富理事長より財務担当委員について, 各委員会  
から財務担当委員を指名する旨が報告された。

2) 日本学術会議のシンポジウムについて (宮地理事)

宮地理事より日本学術会議のシンポジウム開催に  
ついて報告された。

## 第38回日本体力医学会北陸地方会大会日程

開催日 2026(令和8)年6月21日(日)

### 日程

- 9:00～ 受付  
 9:20～9:55 社員総会  
 10:00～10:10 開会挨拶  
 10:10～11:20 特別講演(公開講座)  
 「ウエルビーイングを叶える歩き方」(予定)  
 講師:佐藤真治氏  
 帝京大学医療技術学部 教授  
 11:20～12:30 大会事務局プログラム[30分×2題]  
 (ランチョンセミナー:小松市の事業紹介)  
 12:30～12:50 休憩  
 12:50～14:20 一般口述発表(研究発表)約10題  
 14:20～14:50 ポスター発表(研究発表)  
 14:50～15:00 若手研究者表彰 閉会挨拶

開催場所 公立小松大学中央第2キャンパス 小松駅  
 (JR西日本・IRいしかわ鉄道) 駅前  
 〒923-0868 石川県小松市日の出町1丁目100  
 番 ウレシヤス小松4階

### 参加申込

「参加申込および一般演題発表申込の要領」を参照の上、大会事務局へ送信してください。

**参加申込の締切:2026年6月3日(水)**

**一般演題発表申込の締切:2026年4月30日(木) 17時**

※本大会は健康運動指導士・健康運動実践指導者の登録更新認定講習会(講義3.0単位)として、(公財)健康・体力づくり事業財団へ申請予定です。

※一般演題において、令和8年12月31日時点で40歳未満の発表筆頭者を対象に『若手優秀研究発表賞』の授与を予定しています。

※非会員の方々の参加や発表も歓迎いたします。

**参加費** 会員および学生1,500円 非会員2,500円  
 (昼食代含む) 大会当日にお支払いください。

### 発表抄録

一般口述・ポスター発表申込者は、参加申込に加えて抄録原稿を電子データにて大会事務局へ電子メールで送信してください(締切:4月30日)。抄録は学会誌「体力科学」掲載原稿の書式(25字×36行=900字以内)に従い、MS-Wordにて作成してください。

### 発表方法

口述発表:発表時間9分間(発表7分、討論2分予定)、MS-PowerPointによるスライド映写。

ポスター発表:フリーディスカッション(30分間予定)。原則、発表筆頭者はポスター前に待機してください。なお、発表方法(「口述」「ポスター」)については、大会運営上において不都合が生じた際には、大会事務局で調整させていただきますことを、あらかじめご了承ください。

### 照会先

大会事務局  
 公益財団法人北陸体力科学研究所 星野陽子  
 〒923-8601 小松市八幡イ13番地1  
 TEL:0761-47-1214  
 E-mail:hoshi@sc-dynamic.com

### 参加申込および一般演題発表申込の要領

**【参加申込の要領】 申込締切:2026年6月3日(水)**

以下のリンク「第38回日本体力医学会北陸地方会大会参加申込フォーム」をご利用の上、お申込みください。大会事務局で確認後、参加申込受諾のメールを返信いたします。5日間を経過しても申込確認のメールが届かない場合は大会事務局までご連絡ください。

また、参加を取り止める場合は、**6月19日(金) 17時**までに大会事務局までご連絡ください。

大会事務局:

公益財団法人北陸体力科学研究所 星野陽子

Email:hoshi@sc-dynamic.com TEL:0761-47-1214

### 第38回日本体力医学会北陸地方会大会

#### 参加申込フォーム

<https://docs.google.com/forms/d/1m917eUWGofTusIsOjlxU8aKepJuUVmqixIufE3FNRE/edit>



### 【一般演題発表申込の要領】

**申込締切:2026年4月30日(木) 17時**

一般口述・ポスター発表では、発表者が当日の参加費を納付することで日本体力医学会の会員・非会員を問わず発表することができます。また、ポスター発表では研究計画や予備データの発表等も受け付けます。研究者や学部生・大学院生、健康運動指導士・健康運動実践指導者、学校教員等の発表も歓迎いたします。

抄録原稿はMS-Wordを使用し、学会誌「体力科学」掲載原稿の書式(25字×36行=900字以内、表題・著者名・所属名を含む)にて作成してください。所定の書式に収まらない場合は、大会事務局にて発表の趣意を損なわない範囲内で文言の修正を行なうことがありますのでご了承ください。

作成した抄録原稿の電子データ(MS-Wordファイル)を大会事務局(hoshi@sc-dynamic.com)へ電子メールで送信することをもって発表申込とします(別途参加申込は必要)。

メール本文に希望する発表様式(口述・ポスター・どちらでもよい)と生年月日を付記してください。抄録原稿が大会事務局に届きましたら、発表申込受諾のメールを返信いたします。5日間を経過しても申込受諾のメールが届かない場合はご連絡ください。

なお、発表筆頭者(筆頭著者)が日本体力医学会の会員ではなく、学会誌「体力科学」へ発表抄録の掲載を希望する場合は、大会当日に受付にて掲載料3,000円の納付をお願いします。「体力科学」への発表抄録の掲載を『若手優秀研究発表賞』の選考要件の一つといたします。

### 【ご依頼】日本体力医学会本部の会員情報にメールアドレスを登録されていない会員の皆さまへ

北陸地方会の学術大会開催案内、社員総会において承認された新役員名簿、会則・内規等の書類を、今後は電子メールにて配信する予定です。是非、メールアドレスの登録をお願いします。

メールアドレス登録の届出は、日本体力医学会北陸地方会事務局(辻本:tsujimoto@fukui-ut.ac.jp)へご連絡ください。

# 編 集 後 記

『体力科学』第75巻第2号をお届けします。本号には1編の総説、2編の原著論文、3編のJPFISM掲載Regular Article抄録が掲載されています。ご投稿くださった著者の皆様、ならびに査読にご尽力いただいた査読者の皆様に、心より御礼申し上げます。

さて、私が初めて本誌『体力科学』に論文を掲載いただいたのは1996年のことでした。当時は図書館で文献を手作業で探し、フロッピーディスクに文章を保存し、指導教員に赤ペンでご指導いただきながら、一つの論文に仕上げていくという、時間と労力のかかる過程でした。あれから30年が経ち、研究環境は大きく変わりました。とりわけ近年の生成AIの普及は、研究や執筆のあり方を変えつつあります。

私自身も、執筆過程で生成AIを使用することがあります。論文構成がおぼろげに見えてきた段階で、キーワードや短い文章を入力すると、一定の論理の流れをもつ文章が返ってきます。その過程で「自分に足りなかった視点はこれだ」と気づかされることもあれば、「まさにこの整理が必要だった」と感じることもあります。生成AIは、確かに便利なツールです。

一方で、立ち止まって考えるべき点もあります。生成AIの出力が、いつの間にか「はじめから自分が書いた文章」のように感じられてしまうことです。プロンプトを入力したのは自分だという理由で、そう錯覚するのもかもしれません。

では、そうやって生成AIが出力した文章は「自分のもの」と言えるのでしょうか。この問いは、盗用・剽窃検

知ツールが示す数値だけでは十分に答えられません。類似度が低ければ問題なしと判断されがちですが、それだけで安心してよいのかは慎重に考える必要があります。先行研究を読み、必要な箇所を引用しながら議論を積み上げることが学術論文の基本である以上、類似度が低いという結果自体が不自然に映ることもあるでしょう。ツールの数値はあくまで参考であり、最終的には研究者自身が一文一文に責任を持てるかどうか問われます。

便利なツールが次々と登場する時代だからこそ、「なぜ自分はこの研究をするのか」「この文章は自分の考えを適切に反映しているか」を確かめながら研究と執筆を進める姿勢が、これまで以上に重要になります。ここを疎かにすると、研究者自ら手がける意義が薄れ、極端には「AIに任せればよい」という発想にもつながりかねません。だからこそ、生成AIを活用する場合でも、最終的な判断と責任は研究者が引き受ける、という原点を大切にしたいと思います。

(本編集後記は、Claude Sonnet 4.6 (Anthropic社、米国カリフォルニア州サンフランシスコ) およびChatGPT 5.2 (OpenAI社、米国カリフォルニア州サンフランシスコ) を用いて可読性と言語表現の質を高めました。編集後記の内容そのものは、これらのツールに生成させていません。使用后、著者が内容を精査し、必要な修正を加えました。本稿の内容に関する最終責任は著者が負います。)

重松良祐

## The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol.75, No.2

### 体 力 科 学 第75巻第2号

令和8年3月25日 印刷  
令和8年4月1日 発行

編集兼発行者  
発行所

後藤勝正  
一般社団法人日本体力医学会  
〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13  
RENEX Shin-Otsuka 3F 学会支援機構内  
TEL: 03-5981-6015 FAX: 03-5981-6012  
E-mail: jspfsm@asas-mail.jp

編集事務局

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1  
鶴岡印刷株式会社内  
TEL: 0235-22-3120 FAX: 0235-22-3120  
E-mail: hj-tairyoku@turuin.co.jp

印刷所

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1  
鶴岡印刷株式会社